YAMAHA SPORTS

TZR250R.SP

サービスマニュアル



3XV-28197-00

目　次

§ 1 総説編　総説 1

§ 2 サービスデータ編　サービスデータ 2

§ 3 点検・調整編　点検・調整 3

§ 4 エンジン編　エンジン 4

§ 5 水冷機構編　水冷機構 5

§ 6 キャブレタ編　キャブレタ 6

§ 7 車体編　車体 7

§ 8 電装編　電装 8

§ 9 トラブルシューティング編　トラブルシューティング 9

目次

第１章　総説編

外観写真、車台番号打刻位置、原動機型式打刻位置、認定番号取付位置……P1-1
外観四面図……P1-2
TZ250R ……P1-2
TZ250R・SP ……P1-3
性能曲線図……P1-4
機構説明……P1-5
整備上の注意事項〔１〕……P1-13
整備上の注意事項〔２〕……P1-16
特殊工具機器……P1-17

第２章　サービスデータ編

主要データ……P2-1
仕様諸元……P2-2
締付トルク……P2-6
エンジン……P2-6
車体……P2-8
その他、一般締付トルク……P2-9
オイル、グリース、シール剤塗布箇所……P2-10
エンジン……P2-10
ケーブル、ワイヤ、パイプ通し図……P2-11
TZR250R ……P2-11
TZR250R・SP……P2-16
電装配線図……P2-19

第３章　点検、調整編

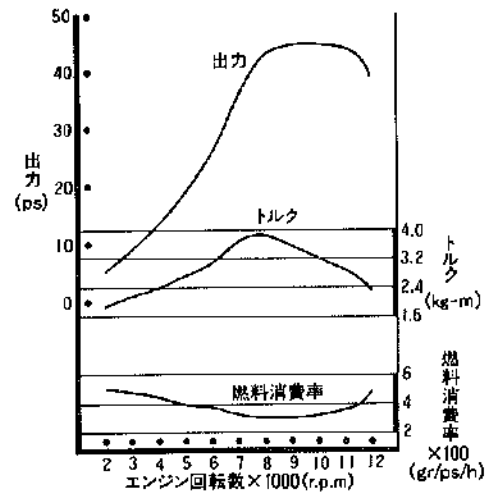
点検整備方法……P3-1
カバー類の脱着……P3-3
フロントアンダボディの取外し……P3-3
カウリングの取外し……P3-3
サイドカバーの取外し……P3-4
サイドカバーの取付け……P3-4
カウリングの組付け……P3-5
フロントアンダボディの組付け……P3-5
フュエルタンクの取外し……P3-6
フュエルタンクの取外し……P3-6
フュエルタンクの組付け……P3-6

エンジン……P3-8
ミッションオイル量の点検……P3-8
交換時期……P3-8
ミッションオイルの交換……P3-9
キャブレタの点検……P3-9
キャブレタ全開点検……P3-9
スロットルケーブル遊びの点検……P3-9
アイドリング調整……P3-10
オイルポンプ合いマークの点検……P3-11
オイルポンプエア抜き……P3-11
圧縮圧力の点検……P3-12
リカバリタンク水量点検……P3-13
冷却水の交換……P3-13
ラジエタキャップの点検……P3-16
ラジエタキャップ開弁圧の点検……P3-16
冷却水循環系統水漏れの点検……P3-17
クラッチの点検、調整……P3-18
エアクリーナエレメントの点検、清掃……P3-18
エキゾーストパイプ、サイレンサの点検……P3-19
車体……P3-20
エア抜き……P3-20
ブレーキパッドの点検……P3-21
リザーバタンク液量の点検……P3-21
リヤブレーキの点検、調整……P3-21
リヤストップスイッチの点検……P3-22
ドライブチェンの点検調整……P3-22
ホイールの点検……P3-24
空気圧の点検……P3-24
ホイールの振れ、がたの点検……P3-24
タイヤの点検……P3-24
ハンドル、ステアリングの点検……P3-25
調整……P3-25
フロントフォーク、アンダブラケットの点検……P3-25
フロントフォーク初期スプリング荷重の調整……P3-26
リヤアームの点検……P3-26
リヤクッションの点検……P3-26
リヤクッションの調整……P3-27

性能曲線図

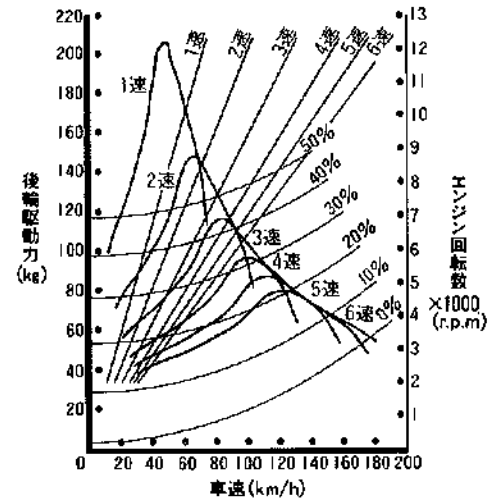
〔TZR250R〕

エンジン性能曲線図



最高出力＝45PS/9500r.p.m
最大トルク＝3.8kg・m/8000r.p.m

走行性能曲線図



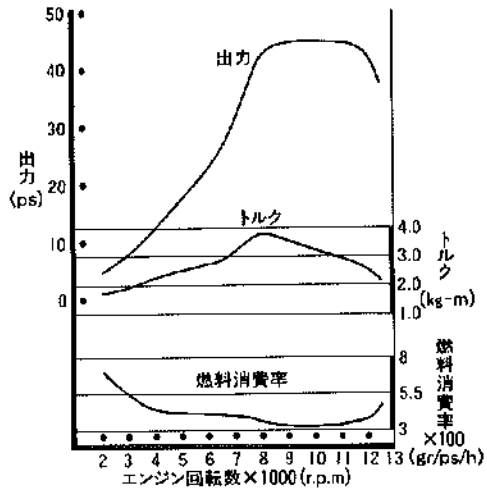
1次減速比＝67/26：2.576
2次減速比＝37/14：2.642

タイヤサイズ
フロント＝110/70R 17 54H
リヤ＝150/60R 17 66H

変速機変速比
1速＝35/13：2.692
2速＝31/16：1.937
3速＝32/21：1.523
4速＝24/19：1.263
5速＝25/22：1.136
6速＝24/23：1.043

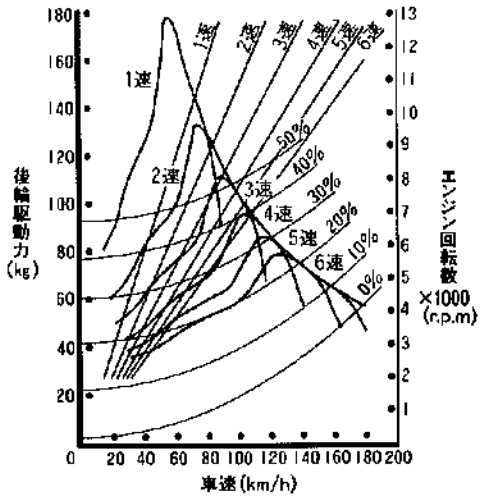
〔TZR250R SP〕

エンジン性能曲線図



最高出力＝45PS/9500r.p.m
最大トルク＝3.8kg・m/8000r.p.m

走行性能曲線図



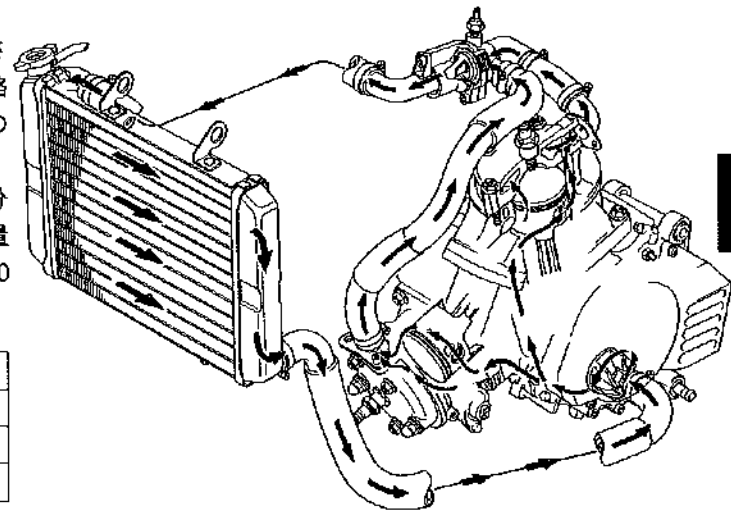
1次減速比＝67/26：2.576
2次減速比＝37/14：2.642

タイヤサイズ
フロント＝110/70R 17 54H
リヤ＝150/60R 17 66H

変速機変速比
1速＝33/14：2.357
2速＝30/17：1.764
3速＝25/17：1.470
4速＝24/19：1.263
5速＝25/22：1.136
6速＝24/23：1.043

冷却システム

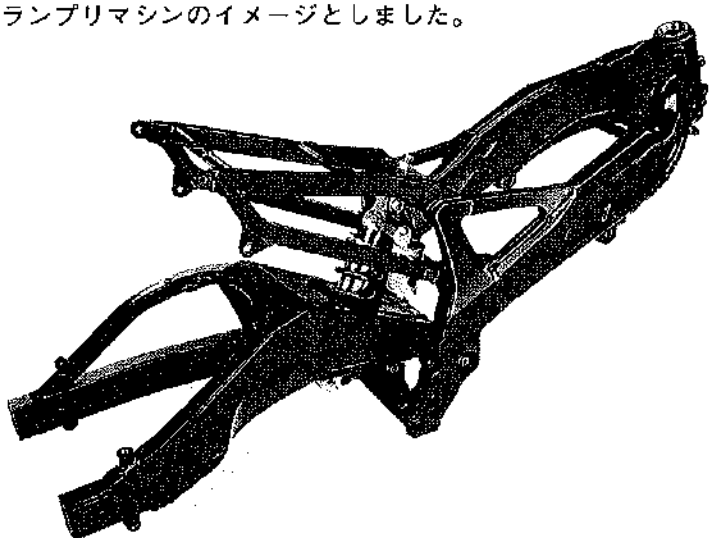
冷却水は、大吐出量のウォータポンプにより強制循環されます。特にシリンダー排気ポート付近に冷却水の通路を設け、シリンダーの温度差を極力なくして冷却効果の向上を行なっています。
冷却システムは、高出力・高トルクを発揮させるに十分な冷却効果と耐久性を兼ね備えています。また、大容量ラジエタは、TZR250R 11800Kcaℓ/h. TZR250R 20000 Kcaℓ/h以上の放熱量を実現しました。



	TZR250R	TZR250R SP
エンジン/ラジエタ	1380cm³(c.c.)	1400cm³(c.c.)
リ カ バ リ	500cm³(c.c.)	500cm³(c.c.)
全 容 量	1880cm³(c.c.)	1900cm³(c.c.)

アルミデルタボックスフレーム

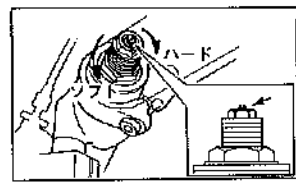
YZR250の基本ディメンションをベースにして、ドライブ軸、ピボット軸、リヤアクスル軸3点の位置の相関関係を解析し、乗り易いライディングポジションを追求しました。
また、安定した走行性とリニアな運動性の両立を実現すると共に、バランスのとれた剛性を確保し、しかも軽量化を実現しました。
ブラック塗装を設し、グランプリマシンのイメージとしました。



フロントフォーク

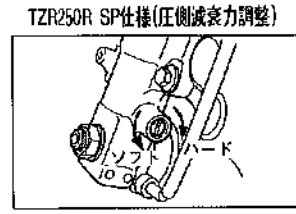
YZR250で高い性能を実現した倒立フロントフォークを採用しました。
フォーク性能の向上と制動時の車体の安定性確保のためにアンダブラケット部にφ50mmのアウタチューブをセットし、高い剛性の確保と共に、ばね下重量の軽減を図りました。

TZR250R SP仕様(伸側減衰力調整)

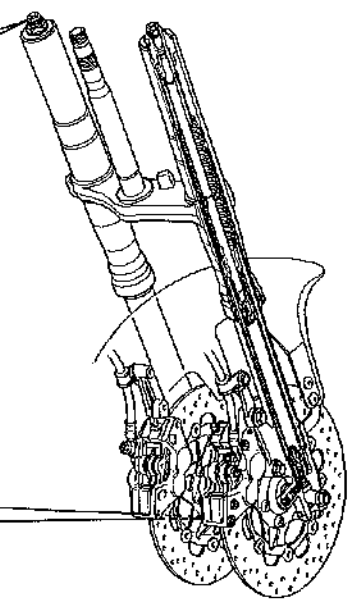


1名標準値	締め込みより7段もどし
調整範囲	1(ハード)~12段(ソフト)

TZR250R SP仕様(圧側減衰力調整)

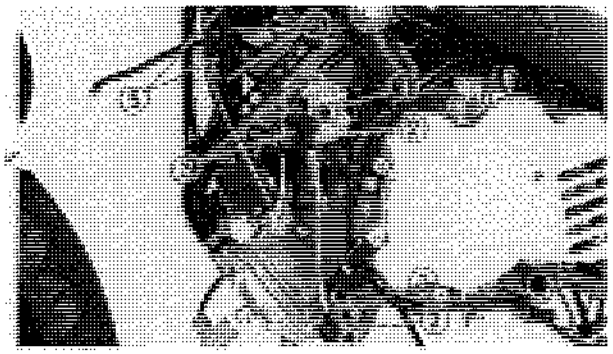


1名標準値	締め込みより10段もどし
調整範囲	1(ハード)~10段(ソフト)



Y.P.V.S.プーリの取外し

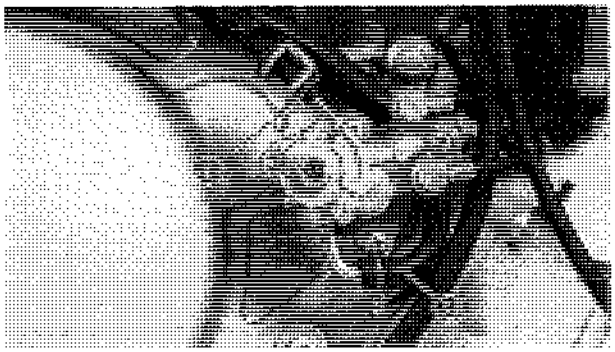
1.φ4mmピンをプーリ溝に組付ける。



2.以下の部品を取外す。

- ボルト①
- プーリ②
- プーリケーブル③

プーリケーブルのロックナット④をゆるめアジャスタ⑤を一杯まで締め、プーリを取外す。

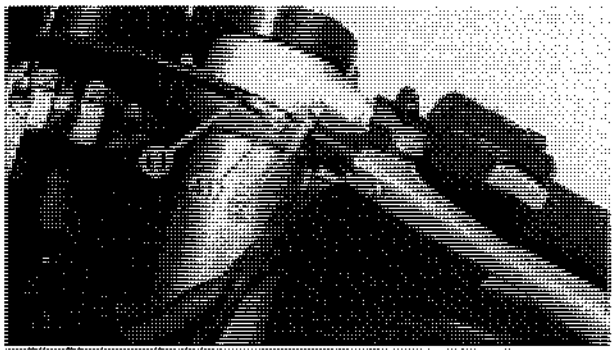


ポンプケーブル、オイルパイプの取外し

1.以下の部品を取外す。

- クリップ①
- ポンプケーブル②
- オイルパイプ③

オイルがこぼれないようにオイルパイプに栓等をしておく。

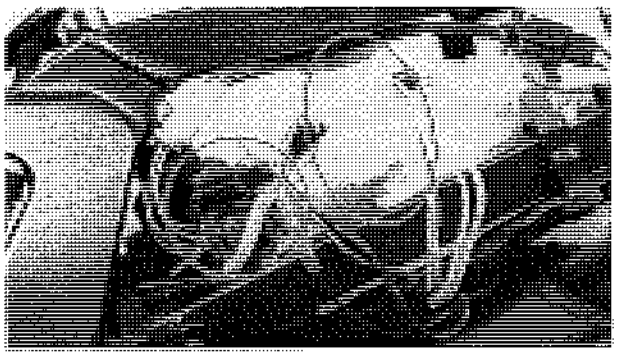


クラッチケーブルの取外し

1.以下の部品を取外す。

- クラッチケーブル①

ロックナット②をゆるめ、アジャスタ③を一杯に締め込みレバーホルダ部より取外す。



各配線の切離し

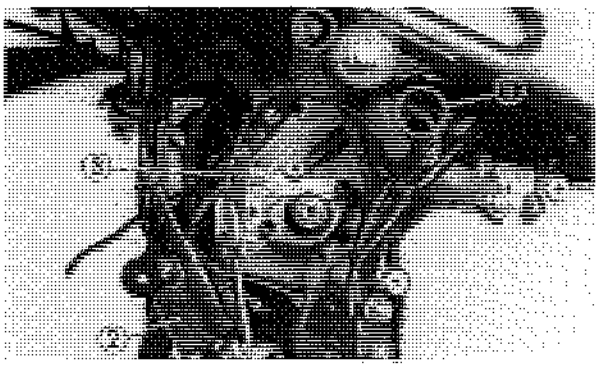
1.以下の部品を取外す。

- サイドカバー

2.以下の接続を切離す。

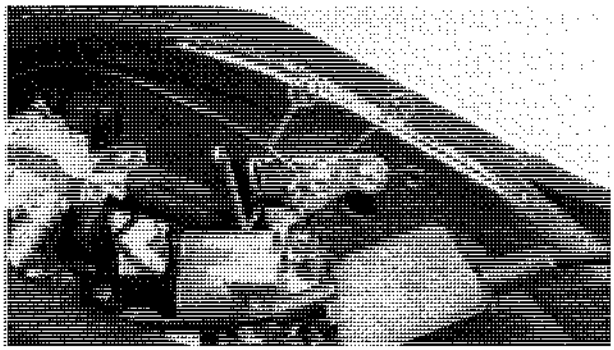
- サイドスタンドスイッチリード線
- C.D.Iマグネトリード線

エンジンの取外し



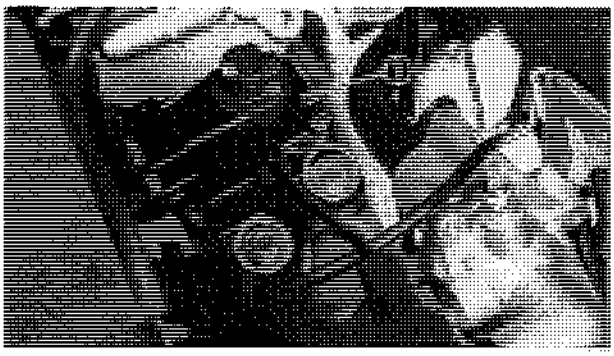
3.以下の接続を切離す。
- ニュートラルスイッチリード線①

4.以下の部品を取外す。
- イグニッションコイル②
- ラジエタステー③

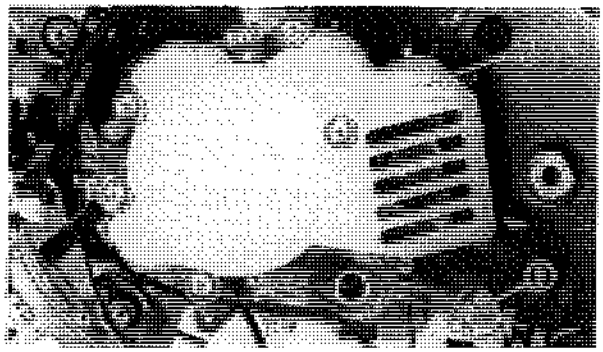


5.以下の接続を切離す。
- サーモスイッチリード線①

6.以下の部品を取外す。
- サーモスタットハウジングステー②

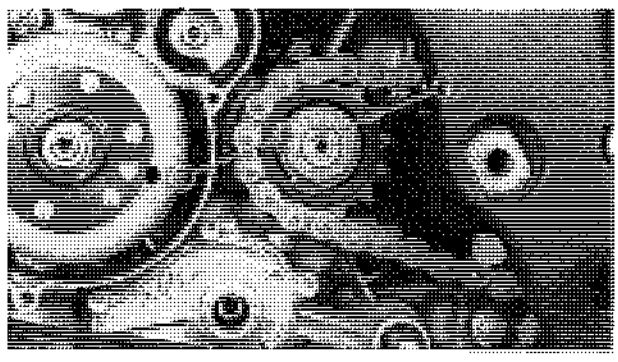


7.以下の部品を取外す。
- サーボモータ①



ドライブチェンの取外し

1.以下の部品を取外す。
- シフトアーム①
- クランクケースカバー1②



2.以下の部品を取外す。
- ナット①
- ロックワッシャ②

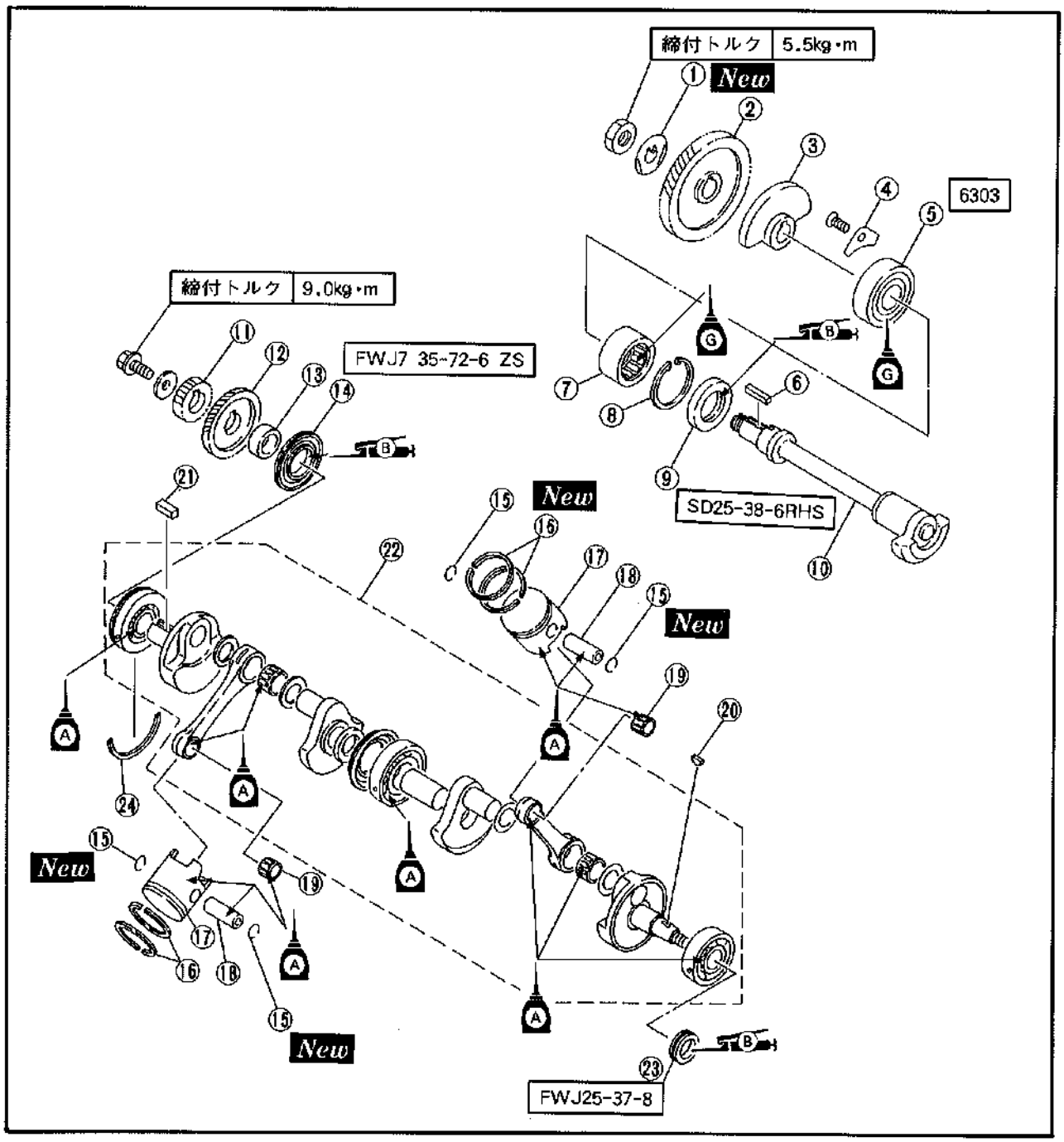
ロックワッシャの曲げ部を起こし、リヤブレーキを効かせてナットをゆるめ、取外す。

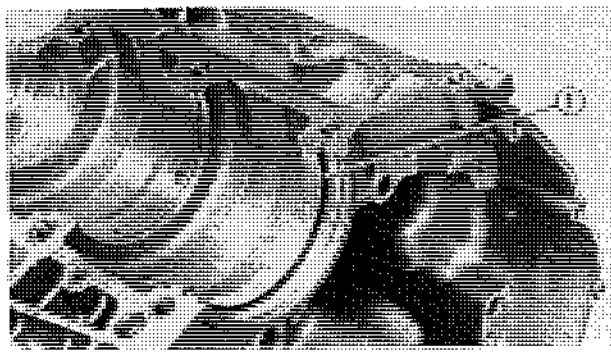
クランクケース、クランクシャフト、バランサ

構成部品

クランクシャフト、バランサ

①ロックワッシャ
②バランスワッシャ
③ウェイト2
④ベアリングカバープレート
⑤ベアリング
⑥ストレイトキー
⑦ベアリング
⑧サークリップ
⑨オイルシール
⑩シャフトAss'y
⑪プライマリドライブギヤ
⑫ドライブギヤ
⑬スペーサ
⑭オイルシール
⑮サークリップ
⑯ピストンリングセット
⑰ピストン
⑱ピストンピン
⑲ベアリング
⑳ウッドラフキー
㉑ストレイトキー
㉒クランクシャフトAss'y
㉓オイルシール
㉔サークリップ

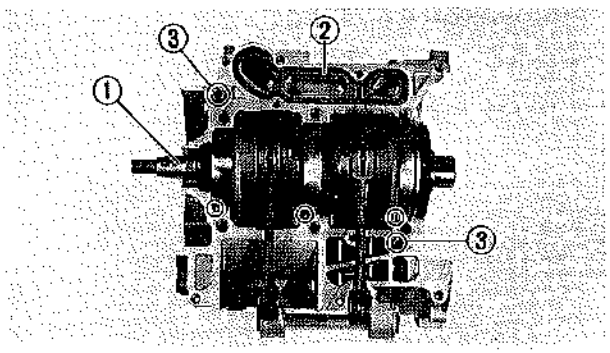




クランクシャフト、バランサの組付け

1.以下の部品を組付ける。
- サークリップ①

クランクケース２の溝に確実に組付ける。



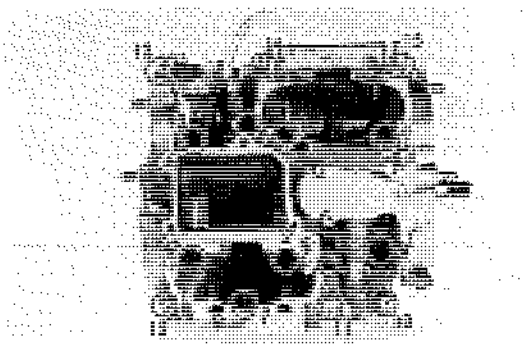
2.以下の部品を組付ける。
- クランクシャフト①
- ガスケット②
- ダウエルピン③

クランクシャフトベアリングのノックピンをクランクケース２の凹部に合わせ、ベアリングの溝をサークリップに、オイルシールの凸部をクランクケース２の凹部に合わせて組付ける。

3.クランクケース１にヤマハボンド1215を合面総てにむらなく塗布する。

4.以下の部品を組付ける。
- クランクケース１

クランクケース１をクランクケース２に組付ける。



5.以下の部品を締付ける。
- クランクケース

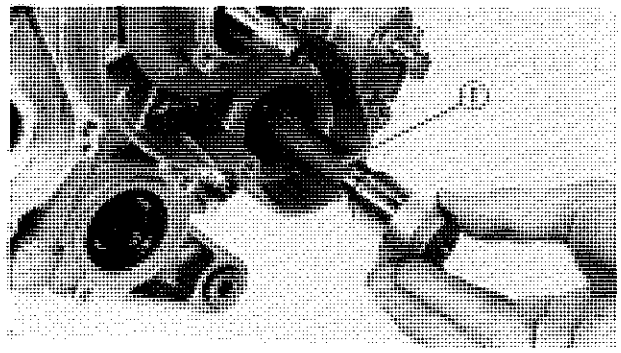
２回に分けて締付順序に従って締付ける。

要　点	No.8のボルトはシール付き。

	１回目	M８	1.0kg・m
		M６	0.5kg・m

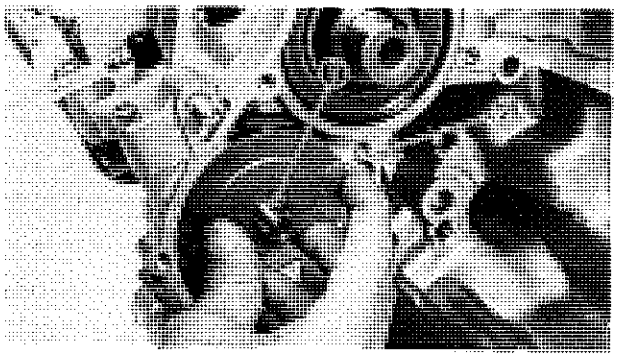
	２回目	M８	2.4kg・m
		M６	1.2kg・m

6.以下の確認をする。
- クランクシャフトがスムーズに回転するか確認する。

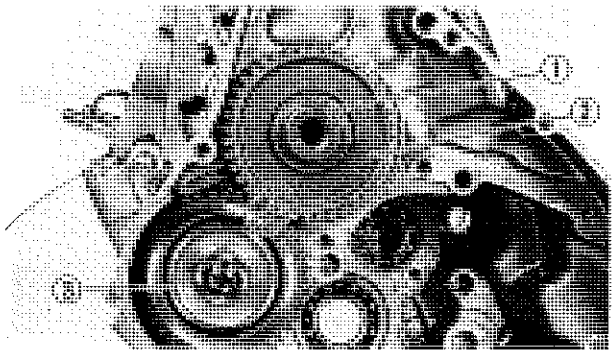


7.以下の部品を組付ける。
- バランサシャフト①

注意	オイルシールのリップ部に損傷をあたえない様に注意する。

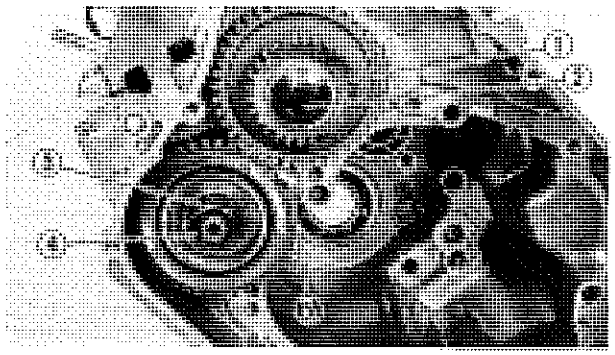


8.以下の部品を組付ける。
- ストレイトキー①
- ウエイト②



9.以下の部品を組付ける。
- ストレイトキー①
- ドライブギヤ②
- バランサドリブンギヤ③

ドライブギヤの●とバランサドリブンギヤの●を合わせて組付ける。



10.以下の部品を組付ける。
- プレートワッシャ①
- ボルト②
- ロックワッシャ③
- ナット④

New	ロックワッシャ

11.以下の部品を締付ける。
- ボルト
- ナット

ドライブギヤとバランサドリブンギヤの間にアルミ板⑤をかみ込ませて締付ける。

	ドライブギヤ	9.0kg・m
	バランサドリブンギヤ	5.5kg・m

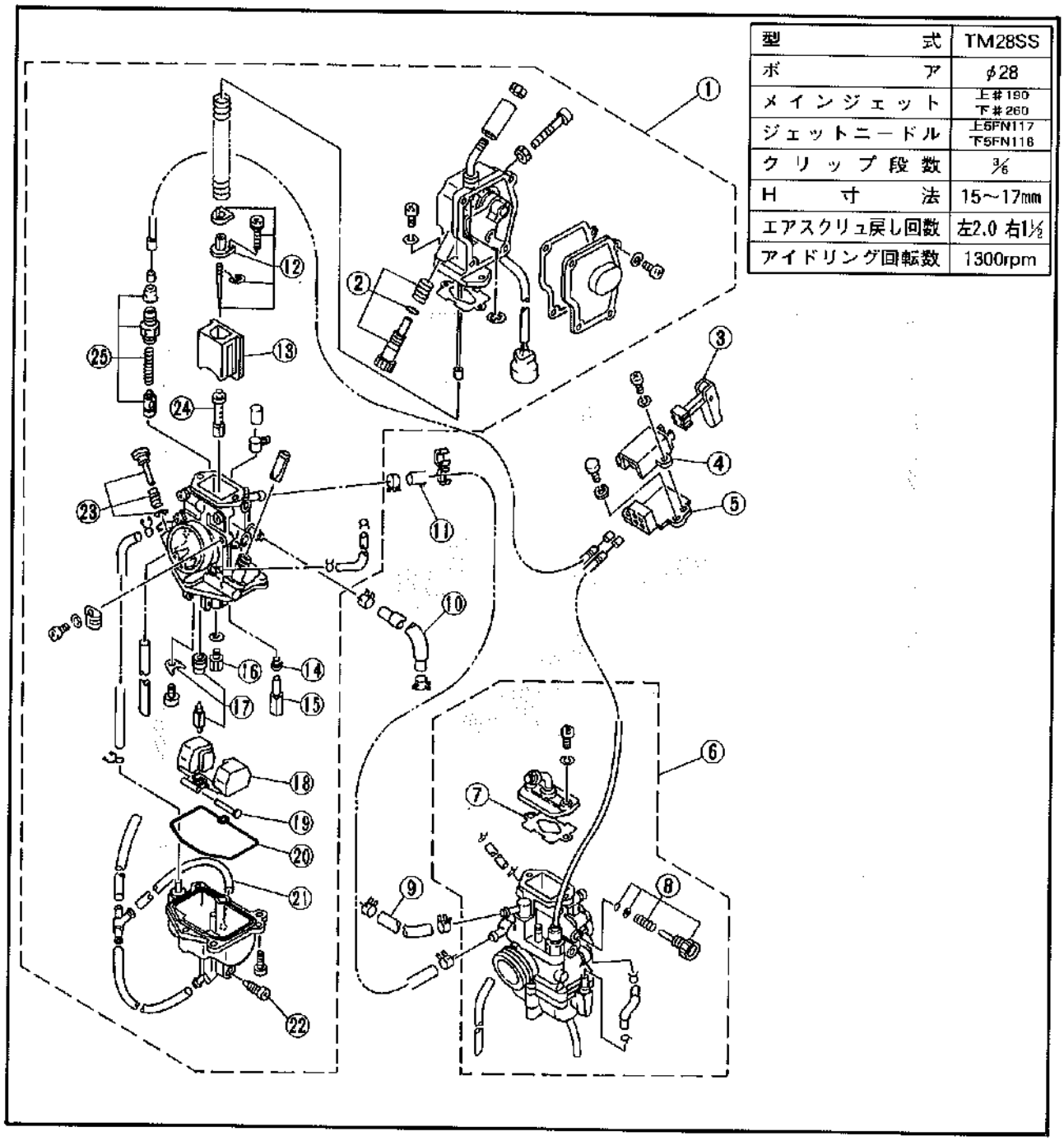
12.ロックワッシャを確実に折り曲げる。

キャブレタ

構成部品

キャブレタ

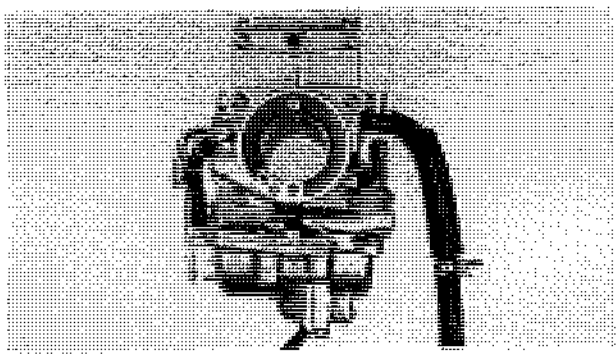
①キャブレタAss'y 2
②スロットルスクリュセット
③スタータレバーComp
④スタータキャップ
⑤スタータケース
⑥キャブレタAss'y 1
⑦ガスケット
⑧スロットルスクリュセット
⑨ホース 3
⑩ホース 1
⑪ホース 2
⑫ニードルセット
⑬スロットルバルブ 1
⑭パイロットジェット
⑮パイプ
⑯メインジェット
⑰ニードルバルブセット
⑱フロート
⑲フロートピン
⑳Oリング
㉑パイプ
㉒ドレーンプラグ
㉓エアスクリュセット
㉔メインノズル
㉕スタータセット



型式	TM28SS
ボア	φ28
メインジェット	上#190 下#260
ジェットニードル	上6FN117 下5FN118
クリップ段数	3/6
H寸法	15~17mm
エアスクリュ戻し回数	左2.0 右1½
アイドリング回転数	1300rpm

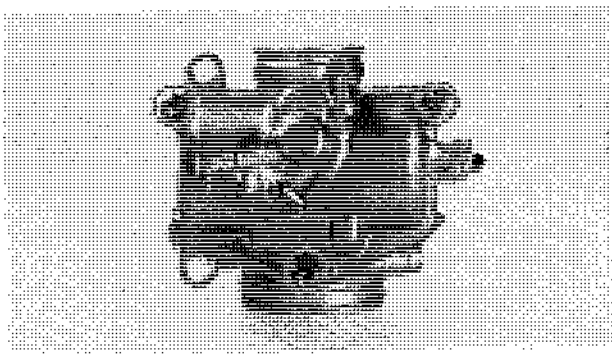
キャブレタの取外し(P4-4参照)

注意 スロットルポジションセンサは絶対に外さないこと。

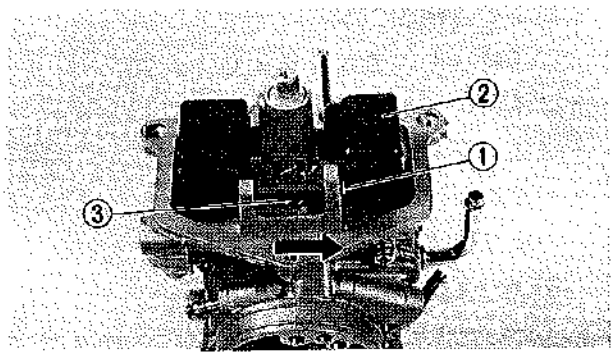


キャブレタの分解

1.以下の部品を取外す。
- 各ホース、パイプ類

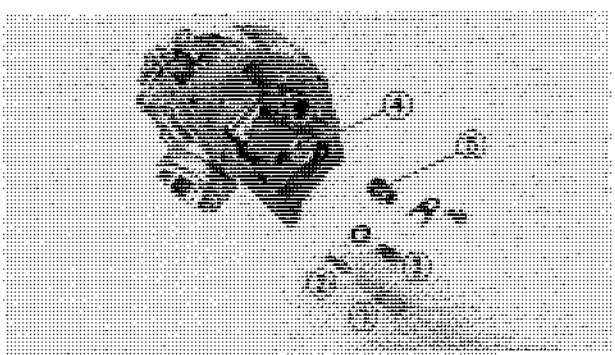


2.以下の部品を取外す。
- フロートチャンバボディ



3.以下の部品を取外す。
- フロートピン①
- フロート②
- ニードルバルブ③

フロートピンを矢印方向に取外す。



4.以下の部品を取外す。
- ホルダ①
- パイロットジェット②
- メインジェット③
- メインノズル④
- バルブシート⑤